

ユーザー感謝の集い

**荒天延期とした「第36回 NAPAC
走行会 in 富士」を無事開催****7月12日（水） 富士スピードウェイ**

荒天のため開催延期とした「第36回 NAPAC 走行会 in 富士」について、代替日程である7月12日（水）に富士スピードウェイで行い、スライド参加者を中心に約90台が走行しました。

第36回 NAPAC 走行会は当初、4月26日開催で進行し、当日はドライバーズミーティングも終え走行するだけの状態まで準備しましたが、開始前に大雨となり、サーキット場の管理運営を担う富士スピードウェイの判断で中止となり、開催を延期としました。

仕切り直しとなった今回は、冒頭に挨拶した高瀬会長が安心・安全な NAPAC 会員パーツの使用をアピールしたほか、萩原 ASEA 基準委員より安心・安全を担保する ASEA 基準が紹介され、NAPAC 会員パーツはハードな季節のサーキット走行に欠かせないパーツであることがアピールされました。

また今回は天気に恵まれた7月開催の走行会ということで、走行時の気温はかなり高めが予想され、プロドライバー（柳田選手、花里選手、谷口選手、富林選手、山田選手）の皆さ



挨拶する高瀬 NAPAC 会長

んから車と人間に無理をかけず走るポイントや、熱中症防止について丁寧に説明されました。この的確なアドバイスもあり、大きなトラブルもなく進行することができました。

一方、Aパドックに出展した会員14社のブースでは、ASEA 基準品を含め最新パーツがお披露目されました。暑い中でのブース運営おつかれさまでした。

走行会終了後は好例の大抽選会が行われ、抽選と賞品授与を担当いただいたエンドレスレディの協力もあり、大いに盛り上がりしました。抽選会後は、中嶋副会長の挨拶で締められました。

本走行会の運営にご協力頂きました関係各位に、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

抽選会後に締めの挨拶をする
中嶋副会長

ドライバーズミーティングでは、柳田選手（写真右）と花里選手（写真左）がコースやフラッグ、また夏の走行におけるクールダウンの重要性等を来場者に説明され、大過なく進行することができました。



天候不順並びにサーキット場の管理運営会社の事情により度重なる日程変更となりましたが、100台近い参加者を得て36回目の走行会は盛況裡に終了しました。



ブリッド



ブリッツ



藤壺技研工業



フォルテック



東名パワード



昭和トラスト



キャロッセ



小倉クラッチ



オクヤマ



エンドレスアドバンス



エムケーカシヤマ



エッチ・ケー・エス



ウェッズ



アサヒライズ FET 事業部